

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 463

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会の開催	7	回	384
	小中一貫教育推進委員会の開催	2	回	2
	その他 ()			
事業実績	<p>令和2年4月の高円寺学園開校に向けて、保護者や学校関係者、地域住民等による懇談会本会及び部会を7回開催し、教育方針や通学路の安全対策、標準服の選定等について検討を進めました。</p> <p>新しい学校づくりの対象地域について、児童・生徒数の動向や校舎の築年数等を考慮し、検討を行いました。令和元年度時点で新たに対象となる地域はありませんでした。また、「杉並区小中一貫教育基本方針」の改定に向けて、小中一貫教育推進委員会を開催し、検証方法等の検討を行いました。</p>			

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>児童・生徒数の減少に伴い、学校の適正規模を確保し子どもたちに望ましい教育環境を提供していくことを目的とし、平成16年度に「杉並区立小中学校適正配置基本方針」を策定、天沼小学校と永福小学校を統合新校として開校しました。また、児童・生徒へより質の高い教育を提供することを目的とし、平成26年2月に「杉並区小中学校新しい学校づくり推進基本方針」の策定及び「杉並区小中一貫教育基本方針」を改定し、施設一体型小中一貫教育校として杉並和泉学園と高円寺学園を開校しました。現在は、児童・生徒数及び学級数が増加傾向にあることから、令和元年度時点での新しい学校づくりの検討対象地域はありません。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>当面新たな検討対象地域が見込めない状況ではありますが、児童・生徒数及び学級数の現在の状況や現在の小中一貫教育の状況を踏まえて、令和3年度までに「杉並区小中学校新しい学校づくり推進基本方針」及び「杉並区小中一貫教育基本方針」の必要な見直しを行います。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>新しい学校づくりに関する懇談会本会や部会は、平成30年度に前倒しして実施したことや保護者や地域、学校関係者の協力のもと審議が滞りなく進行できたため開催数減となりました。</p> <p>小中一貫教育推進委員会は、小中一貫教育の検証に向けた取組検討を目的とし2回開催することができました。</p>
評価と課題	<p>「高円寺地域における新しい学校づくり計画」では、関係者との懇談会本会及び部会を7回開催し、保護者や地域、学校関係者の意見を可能な限り反映するための検討を行い、令和2年4月に高円寺学園を開校しました。懇談会は学校開校に伴い、令和2年3月末に終了しました。</p> <p>今後は児童・生徒数の動向や新たな教育ビジョンの策定を見据え、現行の「杉並区小中学校新しい学校づくり推進基本方針」や「杉並区小中一貫教育基本方針」の検証を行い、改定に向けた検討を進めます。</p>

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	縮小
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな基本構想や総合計画、教育ビジョン等の趣旨を踏まえ、新しい学校づくり推進基本方針策定会議及び小中一貫教育推進委員会を開催し、「杉並区小中学校新しい学校づくり推進基本方針」及び「杉並区小中一貫教育基本方針」の改定を検討します。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 464

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	学校運営協議会の設置（累計）	58	校	29,552
	学校評議員の配置	7	校	13
	その他（ ）			
事業実績	<p>地域運営学校について、計画を上回る5校（小学校3校、中学校2校）に新たに学校運営協議会を設置しました。また、学校運営協議会への理解を深めてもらうため、文部科学省が主催するフォーラムへの学校運営協議会委員の参加を積極的に促しました。さらに、新任の委員を対象とした研修会や、会長を対象とした連絡会を実施するとともに、新規設置校を中心に職員が会議に同席し、適宜助言や情報提供を行い、円滑な運営を支援しました。</p>			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>平成16年に国が「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を改正し、学校運営協議会制度を創設したことから、区は平成17年度に設置を開始しました。令和元年度末には小学校36校、中学校22校、累計58校となりました。国は平成29年4月に法改正を行い、教育委員会が学校運営協議会を設置することを努力義務とし、学校と連携・協働する活動を行う者を学校運営協議会委員に任命することを必須としました。</p> <p>全小中学校の9割が地域運営学校となる中、各学校運営協議会の取組の工夫の共有化を求める声がある等、更なる協議の活性化や取組の充実に向けて、各学校の実情に応じた運営支援が必要とされています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>地域運営学校については、学校と地域の実情の把握や学校への助言、地域への説明等、個々の状況に応じた丁寧な支援及び調整を図り、令和3年度までに小中学校全校へ地域運営学校を設置している予定です。</p> <p>また、各学校運営協議会の更なる協議の活性化や活動の充実に向けて、委員同士や学校間の交流等による学び合いを継続して支援するなど、学校運営への参画意識をより高め、地域に開かれた学校づくりを一層進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>学校運営協議会は各校年間平均10回程度開催しており、活発に活動しています。また、教育活動に対する保護者肯定率も、いずれも目標をやや下回るものの、高い数値を示しています。</p> <p>また、学校運営協議会委員数については、目標値と実績値に差はあるものの、概ね各学校の実状と必要に応じた委員数を確保できています。</p>
評価と課題	<p>学校や地域への説明等を積極的に行った結果、令和元年度は計画を上回る5校に学校運営協議会を設置することができ、地域運営学校は累計58校となりました。</p> <p>既存の地域運営学校では、基本的な会議運営に加え、小中一貫教育の連携校で合同の協議会が開催される等、地域や家庭、学校が連携・協働し、共に支える教育を推進する機運が醸成されています。今後も地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進するため、令和3年度の小中学校全校拡大に向けた取組を進めていくとともに、新任委員等を対象とした研修会の実施や、委員同士や学校間の交流等による学び合いを通して学校運営に対する参画意識をより一層高める等、更なる協議の活性化や取組の充実を図ります。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>地域運営学校は、実行計画を上回るペースで拡充していることから、令和3年度は新たな1校の設置をもって小中学校全校設置となる予定です。そのため、学校運営協議会委員の非常勤報酬や需用費等の経費が令和2年度よりも増加する見込みです。</p> <p>家庭や地域が連携・協働して共に支える教育を推進する基盤となる地域運営学校の拡充に当たっては、地域住民や保護者への説明を丁寧に行い理解を得ながら、着実に進めていきます。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00753)

事務事業名称	小中一貫教育校開校準備 (高円寺地区)	款	07	項	02	目	01	事業	008	整理番号	502	
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係			連絡先電話番号	1683		昨年度整理番号	509		
上位施策No・施策名	28 地域と共にある学校づくり						予算事業区分	臨時事業				
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標	05	施策	28	計画事業	01				
令和元年度担当課名	学校整備課						事業評価区分	一般				

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等	(1) 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱 (2)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章、学園歌及びメモリアル制作を行う。	活動指標	指標名 (1) 学園章検討部会開催回数 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 ○平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作準備 ○令和元年度 学園章及び学園歌の決定並びにメモリアル制作及び記念式典開催	指標名 (2)	3校のメモリアル検討部会開催回数
		指標説明	
		成果指標	指標名 (1) 学園章案制作状況 指標説明
		指標名 (2)	学園歌案制作状況 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度	令和元年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 回	3	1	0	0	0	0	0.0	82.0
活動指標 (2)	2 回	2	3	1	1	0	0	0.0	
成果指標 (1)	3 案	14	1	1	0	0	0	0.0	
成果指標 (2)	4 曲	1	1	1	0	0	0	0.0	
事業費	5 千円	1,001	753	339	4,267	3,497	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号516と分割して記載しています。 (No. 502...小学校費、No. 516...中学校費)	
(内) 委託費	7 千円	551	703	289	1,788	1,702	0		
職員数	8 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	2,148	2,148	2,107	2,107	2,180	0		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	3,149	2,901	2,446	6,374	5,677	0		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,049,667	2,901,000	0	0	0	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	3,149	2,901	2,446	6,374	5,677	0		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表（2）

令和元年度 事業実施状況（D o）

整理番号 502

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	メモリアル作品制作			
記念式典開催				1,979
	その他（ ）			
事業実績	<p>新校舎に展示する3校のメモリアルについて内容を決定して準備を進めました。高円寺中学校のクスノキを活かしたメモリアル作品を制作しました。</p> <p>新校舎の落成式開催、3校の閉校式開催、新校の開校式準備を行いました。</p>			

令和元年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情等）	<p>学園章及び学園歌は、平成29年に学園章検討部会を設置し、児童・生徒、保護者、学校関係者や地域関係者等の意見を基に懇談会で検討を行い、決定しました。</p> <p>メモリアルについては、平成29年に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。</p> <p>なお、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒や地域関係者に親しまれ、より連携と交流を深めています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>「高円寺地域における新しい学校づくり懇談会」で新校の教育方針の確認などを行い、平成26年3月の懇談会設置からのまとめを行いました。</p>
評価と課題	<p>新校舎に展示する3校のメモリアルについて内容を決定して準備を進めました。高円寺中学校のクスノキを活かしたメモリアル作品を制作し、交流ホールに設置しました。</p> <p>新校舎の落成式開催、3校の閉校式開催、新校の開校式準備を行いました。</p>

令和 3年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>令和2年4月の開校に伴い、本事業は令和元年度をもって終了しました。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00755)

事務事業名称	小中一貫教育校開校準備 (高円寺地区)	款	07	項	03	目	01	事業	007	整理番号	516	
現担当課名	学校整備課	係名	教育施設計画係				連絡先電話番号	1687	昨年度整理番号	524		
上位施策No・施策名	28 地域と共にある学校づくり						予算事業区分	臨時事業				
事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標	05	施策	28	計画事業	01				
令和元年度担当課名	学校整備課						事業評価区分	一般				

令和元年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者	根拠法令等	(1) 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱 (2)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章、学園歌及びメモリアル制作を行う。	活動指標	指標名 (1) 学園章検討部会開催回数 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 ○平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作準備 ○令和元年度 学園章及び学園歌の決定並びにメモリアル制作及び記念式典開催	指標名 (2)	3校のメモリアル検討部会開催回数
		指標説明	
		成果指標	指標名 (1) 学園章案制作状況 指標説明
		指標名 (2)	学園歌案制作状況 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (Plan・Do)

区分	単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和元年度	令和元年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標 (1)	1 回	3	1	0	0	0	0	0.0	73.4
活動指標 (2)	2 回	2	3	1	1	0	0	0.0	
成果指標 (1)	3 案	14	1	1	0	0	0	0.0	
成果指標 (2)	4 曲	1	1	1	0	0	0	0.0	
事業費	5 千円	801	502	339	2,628	1,929	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	この事業は、予算科目 (小学校費、中学校費) の関係で、整理番号502と分割して記載しています。 (No. 502…小学校費、No. 516…中学校費)	
(内) 委託費	7 千円	351	452	289	1,173	1,074	0		
職員数	8 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	2,148	2,148	2,107	2,107	2,180	0		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	2,949	2,650	2,446	4,735	4,109	0		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	983,000	2,650,000	0	0	0	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	2,949	2,650	2,446	4,735	4,109	0		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 516

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	メモリアル作品制作			
	記念式典開催			911
	その他 ()			
事業実績	<p>新校舎に展示する3校のメモリアルについて内容を決定して準備を進めました。高円寺中学校のクスノキを活かしたメモリアル作品を制作し、交流ホールに設置しました。 新校舎の落成式開催、3校の閉校式開催、新校の開校式準備を行いました。</p>			

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>学園章及び学園歌は、平成29年に学園章検討部会を設置し、児童・生徒、保護者、学校関係者や地域関係者等の意見を基に懇談会で検討を行い、決定しました。 メモリアルについては、平成29年に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。 なお、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も同年4月から令和2年4月に変更しました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒や地域関係者に親しまれ、より連携と交流を深めています。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>「高円寺地域における新しい学校づくり懇談会」で新校の教育方針の確認などを行い、平成26年3月の懇談会設置からのまとめを行いました。</p>
評価と課題	<p>新校舎に展示する3校のメモリアルについて内容を決定して準備を進めました。高円寺中学校のクスノキを活かしたメモリアル作品を制作し、交流ホールに設置しました。 新校舎の落成式開催、3校の閉校式開催、新校の開校式準備を行いました。</p>

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	その他・対象外
	II. 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>令和2年4月の開校に伴い、本事業は令和元年度をもって終了しました。</p>	

令和 2年度 杉並区事務事業評価表 (2)

令和元年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 531

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	青少年委員報酬の支出		44	人
	地域教育連絡協議会開催のための分担金の支出	19	校区	926
	地域教育推進協議会開催のための分担金の支出	3	地区	1,322
	家庭教育講座 (主催・共催)、家庭教育フォーラムの開催	26	回	1,765
	その他 (運営事務費 (通信費、消耗品の購入ほか))			855
事業実績	<p>44名の青少年委員に対し、研修実施や活動への助言等の支援を行いました。また、青少年委員が中心となって運営する「地域教育連絡協議会」や「地域教育推進協議会」が地域交流事業を、子どもに関わる大人たちが自ら学ぶ場として、教育委員会等が家庭教育講座や家庭教育フォーラムを開催し、いずれも多く地域住民の参加がありました。</p>			

令和元年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情等)	<p>青少年委員は、学校外教育を活動の中心としていましたが、現在では、青少年教育の振興のため、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役となり、地域教育連絡協議会やその発展形である地域教育推進協議会の事務局を担うほか、児童館や学校支援本部等の活動にも関わっており、地域教育力向上のためには、青少年委員の協力が不可欠との声が寄せられています。</p> <p>また、家庭教育講座は、家庭学級として始まり、現在では、教育委員会の主催講座を実施するとともに、各団体によって企画・運営される講座の支援を行っており、保護者が不安に思っていることなど、ニーズに即した講座が地域で開催され、好評を得ています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>家庭・地域・学校の連携を深める上で、地域にある多様な団体や個人が単独で活動するだけでなく、他の団体等との連携・協力が必要な取組が多くなるため、それらの関係をつなぐパイプ役としての青少年委員への役割が大きくなります。そのため、青少年委員の資質向上や地域全体で子どもの育成や教育に関わる課題を解決する仕組みを整えていきます。</p> <p>家庭教育講座については、地域の実情に応じて、地域団体等が自ら企画・運営する講座が増えていくことが予測されるため、引き続き必要な支援を行っていきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた事業が中止となったことから、実績が減となっています。</p>
評価と課題	<p>地域教育連絡協議会や地域教育推進協議会は、青少年教育の振興のため、青少年委員の創意工夫によって、各地域の特性に応じた活動を行っています。また、教育委員会主催の家庭教育講座や家庭教育フォーラムの参加者を中心に、子育てについて新たな視点を得たり教育に関する課題を共有する学びの場を自らつくろうとする動きが進んでいます。</p> <p>今後も、地域の核となる青少年委員の活動や地域教育活動を自主的に行う団体への支援を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点も踏まえつつ、適切に行っていきます。</p>

令和 3年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I. 事業コストの方向性	現状維持
	II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区教育ビジョン2012に掲げる「家庭・地域・学校のつながりを重視した、共に支える教育」を進めるため、各地域の実情を踏まえつつ、それぞれの組織が連携・協力していけるように、地域教育連絡協議会や地域教育推進協議会の運営を支援していきます。また、それら協議会運営の要となる青少年委員に対し、企画力や実行力向上につながる実践的な研修や、情報の共有につながる支援を行います。</p> <p>家庭教育講座等については、PTAや地域団体が、その地域に即した講座を自らの力で開催できるように、協力・支援を行っていきます。</p>	